

コースNo.
13

経営に活かす財務講座・財務分析編

図解で分かる財務のしくみと、演習でつかむ分析の勘所

対象者 管理者、新任管理者(候補者)

財務諸表から経営状況を理解し、金融機関等外部に財務状況を説明できる力をつけたい方

研修期間 平成28年7月6日(水)～7月8日(金) 3日間 研修時間 **21時間** 募集人員 **20名** 受講料 **31,000円(税込)**

● 研修のねらい

決算書は企業の通信簿と言われますが、自社の財務状況を理解し経営状況を把握することで、先を読んだ的確な経営判断に活かすことが、自社の継続的な発展につながります。そして、決算書に基づいて経営状況を把握し、経営者・経営幹部に提案や進言をする管理者が求められるようになっていきます。

本研修では、財務諸表の見方だけでなく、財務分析による財務状況・経営状況の把握や、決算説明ができるようになることを目的とします。

● ポイント

- ①財務諸表のしくみを図解で分かりやすく学びます。
- ②パソコンを利用した演習を通じて、自社の財務諸表を正しく、効果的に分析できるようになります。
- ③財務分析のポイントを掴み、資金調達力の向上を目指します。

● 持参資料

自社の決算書3期分をご持参いただきますと、演習の中で自社決算書分析をしていただくことができます。ご持参いただけない場合は、例題をご用意しております。 ※決算書は提出したり、他の受講者に見せることはありません。

● カリキュラム概要

※カリキュラムは都合により変更する場合がありますので予めご了承ください。

| 月/日 | 時間 | 科目 | 内容 | 講師 (敬称略) |
|------------|-----------------|------------------------|---|-------------------------|
| 7/6 (水) | 10:20～ 10:30 | 開講式 オリエンテーション | | 中小企業診断士 三浦 淳一 |
| | 10:30～ 12:00 | 図解で理解する 財務諸表 | ◆「貸借対照表」「損益計算書」のしくみと役割 ◆キャッシュ・フローをつかむ | |
| | 13:00～ 15:30 | 財務分析を活かした 課題抽出と改善計画 | ◆収益性分析～どれだけ儲かっているか ◆効率性分析～経営資源がうまく活用されているか ◆安定性分析～経営環境の変化にどれだけ対応できるか | |
| | 18:45～ 20:15 | 交流会 | 受講者同士の懇親と情報交換 | |
| 7/7 (木) | 9:00～ 12:00 | 財務分析を活かした 課題抽出と改善計画 | ◆損益分岐点分析～どれだけ売ればもうかるのか ◆改善計画～分析結果から導く改善策 | |
| | 13:00～ 18:00 | 事例に学ぶ 財務分析のポイント | ◆過去の推移からみる分析方法 ◆複数年の比較でみえてくる問題点や優位性 ◆金融機関に自社の決算書を説明するポイント | |
| 7/8 (金) | 9:00～ 12:00 | 実践力を養う 財務分析演習 | ◆自社の財務分析と改善計画の立案 ◆自社に必要な分析指標やポイントを明確にする ◆自社の財務状況を把握し、課題を把握する ◆財務改善の実現に向けた計画(予算)を立案する | |
| | 15:00～ 16:00 | これからの 財務管理者の役割 | ◆中小企業を取り巻く経営環境とこれからの財務管理者の役割 | |
| | 16:00～ 16:20 | 終講式 | | |

講師紹介



三浦 淳一 (みうら じゅんいち) 中小企業診断士

1974年札幌生まれの深川育ち。1997年に北海道大学経済学部を卒業し、札幌市内の会計事務所にて中小企業者の会計・税務に関する指導業務に従事。その後、北海道ベンチャーキャピタル(株)の創業期に参画し、2011年度には代表取締役社長に就任。北海道ベンチャーキャピタル(株)では道内の中小企業者向け直接金融業務に従事し、財務戦略を中心とした経営コンサルティング活動を行うほか、投資先企業数社の役員を兼務。そのほか、各種起業塾などでの講師、各種自治体事業におけるビジネスプランの審査などの活動も精力的に行っている。